

事業所名

放課後等デイサービス 蓮華

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

10 日

法人（事業所）理念	心を育み、心の成長と一緒に寄り添っていきます。		
支援方針	たくさんのお友達と一緒にいろいろな「遊び」「活動」を経験しながら「喜び」「楽しみ」「できた」を積み重ね豊かな心を育みつつ、お子様の個性を大切に一人ひとりに合わせた支援を提供します。そして、将来一人一人が自立していき、自分が希望する生活が出来る場を目指していきます。		
営業時間	10	時	0 分から 19 時 0 分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	毎日の検温・手洗い・うがいを実施し、活動中の水分補給、食を噛む力（咀嚼・嚥下・姿勢保持等）の育成と楽しい食事を支援します。靴を下駄箱に入れる・歯磨き・洗顔・衣服の着脱・排泄を身に付けるなど活動の中に基本的な生活スキルの習得を取り入れていきます。活動の流れを変えないで見通しを立つように支援し安心して過ごせるようにします。具体的には平日は「学校から帰って来たら頑張る時間→始まりの会→おやつ→集団活動→自由時間→終わりの会→帰ります」土曜日長期休暇は「始まりの会→頑張る時間→お弁当→集団活動→おやつ→自由時間→終わりの会→帰ります」学校が休みの流れは外出やクッキングなどプログラムによって変動がありますが流れは変わらず行うことで生活のリズムや生活習慣を整えることを身に付けるようにします。	
	運動・感覚	様々なツールを使って一人ひとりに合わせた個別課題に微細運動や公園やサーキットゲーム、筋トレ、ダンス等粗大運動を取り入れ姿勢と運動・動作の向上を図るようにします。身体能力により姿勢の保持が難しい場合は職員が支えたり、また刺激を求めて多動傾向の方に声掛けをしたり、体に刺激があるマシンの設置などをします。本人の感覚過敏や感覚鈍麻を理解し、安心して過ごせる環境を設定します。	
	認知・行動	一人ひとりを認知特性を理解し、様々なツールを活用し適切に動けるようにします。遊具にある色や色カード、カラーボール等を使って色の習得。様々な形や質感の違うものに触れることで感覚習得。外遊びや自由時間の終わりの時間を告げたり、音楽を鳴らす、タイマーを使うなど切り替えを視覚や聴覚にて促すことで時間を認知。人との距離間を活動することで空間を認知。音楽療法を通して、聴覚を活用する発達を促す。他の人や自分、物を叩く等の行為が見られた時には応用行動の分析をしてその理由を見つけその理由にあった方法で不適切な行動のコントロールの習得を目指します。	
	言語 コミュニケーション	必要最低限度のあいさつで「ただいま」「お帰り」「ください」「ありがとう」「ごめんなさい」等社会性のある言葉と動作を結びつけます。「とまる」「走る」「あるく」「右」「左」など基本的な動作と言葉を結びつけます。言語が出来るお子様にはそれぞれのレベルに合った問いかけをして話し、活動の中で相手の考えを理解したり、自分の気持ちを伝えることが出来るようにします。またその場の適切な言葉遣いも伝えていきます。言語が難しいお子様には、それぞれにあった方法でコミュニケーションがとれるように文字カードや写真・絵カード、ジェスチャーなどでの支援を行います。	
	人間関係 社会性	SSTや活動を通して感情のコントロールを身に付けたり、順番を守ることを通して待つことを身に付けます。遊びや体験活動を通して社会性を身に付け、集団活動に参加できるよう支援します。（公園遊び、施設見学、体験学習）	
家族支援	家庭訪問。事業内個別相談。	移行支援	地域の行事等への積極的な参加。就労先との情報交換。
地域支援・地域連携	学校や医療機関との情報交換。関係機関による支援会議。	職員の質の向上	事業所内での虐待研修・避難訓練・防犯対策（訓練）を実施。事業所内で定期的な活動内容のミーティングの実施。自己啓発のため関係各所・各団体がやっている研修・勉強会に参加。地域生活協議会委員会の参加。子供支援ネットワークの参加。
主な行事等	初詣。豆まき。お花見。夏場のプール遊び。川遊び。バーベキュー。夏祭り。工場見学。体験学習。買い物体験。ハロウィン会。クリスマス会。秋～冬の散歩。合同での体育大会。ボーリング。カラオケ。防災センター。防災訓練。外食体験。音楽療法。公共交通機関利用体験。地域高齢者施設への敬老の日のお祝い。母の日・父の日のお祝い。季節の飾り物作り。作品展に出店。卒業生を送る会。ランチ・おやつクッキング。グループ別活動。		